

# 教職員研究グループ活動実績報告書

研究グループ名【 教育臨床事例研究会 】

代表者の所属・職・氏名	加西市立日吉小学校	連絡先	住所	加西市和泉町56番地
			TEL	0790-45-0019
	FAX		0790-45-1644	
	e-mailアドレス		hiyoshi-es@kasai.hyogo-c.ed.jp	
	養護教諭 岸井さとみ			

## 活動実績

### 研究テーマ

学校生活において適応が困難な子どもの心に寄り添う  
～事例検討会を中心とした教育支援と体制～

### 研究の概要

6月30日（木） 平成28年度の活動計画立案（加西市立総合教育センター）

- ・参加人数 9名
- ・研究テーマの決定、方向性、研修会の持ち方を話し合った。
- ・各校の課題や子どもの対応について情報交換をおこない、臨床心理士やスクールカウンセラー等の専門的立場の方を招聘した研修会の計画を立てた。

8月 5日（金） 講師招聘による研修会（加西市立総合教育センター）

- ・参加人数 8名
- ・講義内容「発達障害（神経発達症）について」
- ・講師 臨床心理士
- ・PCAGIPの手法で講師と共にA小学校の事例検討会を実施した。
- ・個に応じた具体的な対応の仕方について指導を受けた。
- ・発達障害が要因となり、様々な問題を引き起こすことから発達障害の特性、子どもへの早期支援の重要性、その方法について学んだ。

11月11日（金） 講師招聘による研修会（加西市立総合教育センター）

- ・参加人数 8名
- ・研修内容 「事例検討会」～小・中学校の事例～
- ・講師 臨床心理士
- ・早期に子どものSOSに気づき、気持ちに寄り添いながら養護教諭として教育相談活動を進めていくこと。さらに、事象のみに目をうばわれるのではなく、背景にある心理的要因にも着目し、総合的な見立てにもとづく関わり大切さを学んだ。
- ・子どもの発達支援からの視点について理解し、支援が必要と思われる子に

対して校内支援体制を機能させ、関係機関と連携して進めていくための助言を受けた。

1月17日（火） 講師招聘による研修会（加西市立総合教育センター）

- ・参加人数 8名
- ・講義内容 「気になる子どもと家族への関わり」
- ・講師 臨床心理士
- ・保健室の役割、発達障害、発達段階と社会性、保護者への養護教諭としての関わりや対応について認識を深めた。
- ・ケーススタディを通して、事象の捉え方の多様性について再認識し、多角的な視点で物事を観ることの必要性が分かった。

2月 7日（火） 今年度のまとめと次年度の活動計画（加西市立総合教育センター）

- ・参加人数 9名
- ・学校生活に適応困難な子どもたちが持つ発達特性・障害と背景の関連や校内支援体制の確立、専門機関等との連携のあり方を観点として研修内容をまとめた。

#### 【成果と課題】

友だちとの関わりづらさや授業参加の難しさなどを感じ、学校不適応状態がうかがえる子どもたちが増え続けている。いくつかの様々な問題を抱える子どもたちの事例を通して、子どもの実態を十分に理解し特性に考慮した適切な関わりを学び、個々の発達特性・生育環境・人間関係など様々な要因が子どもの育ちに影響していることを改めて認識した時間となった。さらに、養護教諭として専門的な観点で個に寄り添いながら問題解決の方法をさぐることにより、特別支援教育の視点を取り入れた「保健室の役割と活動」と「養護教諭の具体的な関わり」について、検討を図ることができた。一方、学校での問題行動や保健室利用が頻繁な子どもたちの援助要請が求められている。対象となる子どもの状態に対応した日常の授業や学校生活における教育課題の遂行と発達課題を促進させるかかわりを教職員間で連携しながら並行して関わっていくことが、不安や緊張の軽減につながっていくのではないかと思われる。

今後、学校の相談窓口として校内支援体制の充実と関係機関等への繋ぎ方など、校内においてコーディネーター的な役割を担い、各校との交流や継続的な事例研究を積み重ね、専門的な知識とカウンセリング技法を身につけ、養護教諭としての資質を高めていきたい。